

三娘アツム

Fate/hollow ataraxia Fan book For Adult



恋愛漫画家



「今水泳部は遠征に行ってるので、
その間陸上部が借りてるんです」

「なるほどね…そういや蒔寺と氷室は？」

「何でも秘密の特訓をするとかで
二人だけ居残りで練習してるみたいです」

「ふーん…じゃあ三枝は先に帰ろうとしてる所で
先生に捉まって用事を言い付けられたんだな」

「そうなんです…だからプールに出戻りです」

「そりゃ災難だったな」

「そんな事ないですよ…衛宮君も手伝ってくれてるし」

「ま、コレくらいはね…ところで
あの三人がやってる特訓って、何なんだ？」

「それが…教えてくれないんですよ」

「へえ、三枝にも内緒なのか」

「……そういえば最近よく二人だけで
何かやってるみたいなんです」

「…まあ蒔寺だけならともかく、氷室も一緒なら
心配する事もないだろうが」

「うーん…でも、鐘ちゃんも…いつもと違うみたいで
何だか…変って言うか」

「…違和感？」

「そう、ですね」



ふむ：
良い感じに
身体が熱くなってきたな

鐘が
由紀つちの前で
ヤラシイ視線
送ってくるから：
その時からずっと
熱くなってるよ：

そうか：
そういえば
乳首もこんな
ピンピンに
立ってるし：
これは相当
興奮してるんだな

あっ：
し：仕方ないだろ
こんな
弄られたら
誰だって
感じて：

ああ：やあ：
乳首もクリトリスも
気持ち良くなっちゃうってば：

まあ確かに
愛液も溢れて
陰核も勃起してしまふのは
当然だな：

それにしても
競泳水着用に陰毛を剃ったお陰で
幼児の様にツルツルな局部が
逆にイヤらしいな

そ：それは分かるけど
だからってそんなに
擦られたら
力が抜けて
漏らしちゃうじゃんか

鈍いな楓
私はその漏らす様を
見たいから
こうしてるんじゃないか



あつ
出ちやうよ...
凄く恥ずかしいってのに
また鐘に見られちゃう...

ああ...
楓が出す所
じつくりと
見ていてやるよ

はあ...
出ちやった...

気持ち良さの証だ
恥ずかしがる事はないさ...

それに何と言っても
この時の楓の姿は
とても女の子らしくて
可愛いからね...
見ていてドキドキするよ

ぎゅるる

はっ... はっ...

ううう
そういうのが却って
恥ずかしいんだってば
鐘のバカ...

そうやって
すぐに赤くなるのが
可愛いのか

ヤァァァァ...

あたしはばっか
恥ずかしいのって
何かズルい...
鐘のも見せてもらわないと
釣り合わないよ

それじゃ今度は
私が見せる番だな...
楓に見られながらとは
中々に興奮する...

ううう...
鐘のスケベー
それじゃやっぱ
あたし一人
恥ずかしい
だけじゃない...

そうは言うがな楓：
私の方がお前の事を
思ってるんだよ

惚れた弱みだから
楓にはどんな事でも
してやれるのさ

……
そういう事言って
誤魔化そうとしてるんだ
いつもそうじゃん

捻くれた事を言う口は
塞いでやるか……

すん……
すっかり
デュープキスにも
慣れたな……
好きこそ物の上手なれとは
この事だな

仕方ないじゃん……
実際にすげー
気持ちいいんだし

……誰だ？

……もし由紀香なら
部屋の中に入
つてきてくれ

あ……

クッ……

コッ……

コッ……

じゃあ……

ん……



そこにいたのは案の定由紀香だった。
彼女なら、まあこの際二人の関係をばらしても良いかと思っていたし、
無理強いはいしにしないしろ、この性関係に巻き込んでしまうその好機だと
思ったんだが……

隣に、衛宮がいるではないか。
まあ、何と言うかこの想定外の状態。

どうしたものか……

いや、実は、ブレイの一環として部室で致す時なんか
「放課後あちこち歩き回ってる衛宮に、見つかったらどうする？」
なんて事を楓に想像させる事は、しばしばあった。

それは勿論、楓がバリバリに意識している、あの遠坂嬢の想い人だと
言う点が非常に大きい。

遠坂嬢と同じように、同じ相手とセックスする。

そのブレイでは、楓は面白いように絶頂しまくる。

まあ……多少やきもち的な感情を持つのは確かだ。

だが、実は私も、その妄想での自慰は既に定番となっている。

誰もが憧れ、そして劣等感を感じる遠坂凛。

その彼女が、身も心も曝け出し、獣のように、セックスするのだ。
興奮しない訳がない。

そして、その相手を許された男。

衛宮士郎に、抱かれる。

興奮しない訳がない。

だが、それは。

あくまで想像の世界の話だ。

まさか、現実には出来まい……

……いや。

これは、現実だ。

「つーか、ありえないし!」

楓も、最初はそう言いながら抵抗をしていたが私が本気だと分かってからは、徐々に落ち着きを取り戻してきた。

「別に俺、誰にも話さないけど…」

衛宮はそう言ってくれたのだが、既にそんな話ではなくっているのだった。

「衛宮に対しての完全な口止めというのが第一。だがそれだけではなく、あの遠坂嬢を、衛宮が一体どのように抱いているのか…知りたい」

そう、私と楓の処女を条件に、口止めをする。と同時に、私たちの知的性的好奇心も一気に満たされるのだ。

…勿論、こういう状況にならない限りは、あのような妄想を実行しようなどとは、絶対に思わなかっただろうが。

そして、洗る楓は何とか宥めすかしながら、衛宮に確実に秘密を守るように約束を取り付け固まっている由紀香はとりあえず放置して。

私たちの処女を衛宮に捧げる準備にかかる。

…先ずは楓から。

衛宮はどのように楓を抱くのだろう…



きつ過ぎず
緩過ぎず…
これで
いいだろう

七毛

なあ鐘…
別にこんな事しなくっても
暴れたりしないけど

私だけなら
大人しくしてる
かもしれんが…
衛宮相手だと
不安だしな

それに何と言っても…
お前は縛られると
興奮するからな

ほら…
新しい愛液が
出てきたした

だっ…
だからそういう
恥ずかしい事を言うなってば！

それじゃあたしが…
凄い変態みたいじゃん…

何を怒ってる
単なる事実だろう…
マゾっばいというのは

うう…
勝手な事ばっか
言いやがって…

確かに…
そっちの気がないと
ここまでは濡れないかもな

それじゃ
衛宮にそれが事実かどうか
確かめてもらおうか

へえ…
中の方は薄くて綺麗な
シエルピンクだ…
処女膜もふるふるしてて

ううう…
そんなに詳しく説明されたら
恥ずかしさ倍増だったの…

でも時寺のここ
めちや女の子っぽくて
儚げで可愛いよ

…そんな
可愛いとか
言われても…
困る

でも可愛いって言ったら
トロツて液が
垂れてきたけど

……ちよつと
ドキッとしただけ
だつて

勃ってる
クリトリス…
舐められたら
どんな感じ？

気持ちいいよ…

そのまま舌で舐め回しながら
クリトリスを指で
クリクリしてみても…

こん…
こんな感じ？

愛液がどんどん
溢れてきた…
感じてくれるのは
素直に嬉しいな

はああ…
すごい感じちゃう…
鐘よりも力強くて
無理矢理犯されてるみたいで…
ドキドキする…

バカ…

楓はアナルもかなりイける口なんだ

衛宮も嫌いだらう

まあそれはいいけどにしても凄いな氷室は…処女の蒔寺をここまで調教したんだな

ああ…性に晩熟で無知な楓の事が可愛くてつい…な

その内もつと拡張してアナルコイタスもお願いしようかな

ふ…二人がかりでそんなにされたら…もう…

あんなにされた蒔ちゃん…どんな風にいつちやうのかな

あ…蒔ちゃんがいつちやうそう…

でもあんなにされたら…どうなるのかな…

いつも勝気で男勝りな蒔ちゃんがあんなに女の子になっちゃうなんて…

私なんて皮の上からそっと触る程度でクリトリス感じちゃうのに…

うう…興奮しちゃって下着がびちゃびちゃに濡れちゃうてるよ…

私だったらきつと泣いちゃうけど…

蒔ちゃん…

蒔寺：
大丈夫か？

衛宮のアホー…
お前があんなに感じさせるから
潮噴きながらイツちやったじゃんかー…

ゴメンな…
でも
すげえ
可愛かったよ

…衛宮…

だから…
もう泣くな

はあ…
衛宮に見られながら
アソコ弄られながら
お尻も弄られながら
いっちゃったよお…
恥ずかしいのに…
すごい恥ずかしいのに…
メチャクチャ
興奮して
メチャクチャ
いっちゃった…

…バーカ…
♡

ぽん…

あーあーあーあー

あーあーあーあー

あーあーあーあー

はあ

あーあーあーあー

由紀子も随分
気分を出してるようだな…
身体全体が
紅潮してる

かつ
鐘ちゃん!

だ…駄目だよ…
ああ…そんな…

ほら…
楓の処女喪失を見ながら

由紀香も
気持ち良くなるという…
力を抜いて
私に身を任せて

鐘ちゃん…
…優しくして…

衛宮…
優しく
してくれ…

うん…
衛宮のが入ってくるの
感じる…分かるよ

時寺の中…
入っていくよ…

分かってる…

もう少し
我慢してくれ…

うん…
頑張るよ…

…全部入ったよ
大丈夫か？

ん…
何とかね…

…へへ
何だか変な感じ…
痛いのに
嬉しいんだ…

痛いの痛いと
思った程じゃ
ないから…

ほんと
今の蒔寺は
可愛いな…

あつ…
キスしたら
濡れてきちやった…

衛宮…
動いていいよ
あたしで
気持ち良くなつて…

うん…分かった
それじゃ少しずつ
動くからな

ん…
何か変な感じだ…
自分が
女なんだって
身体全部で
感じてみたい…

そっか…でも
よく頑張ったな
蒔寺

今はうてのが
余計だ…

ん…
♡

頑張った衛宮に
ご褒美だ！

処女二人の局部を
開帳してやろう！
大盤振る舞いだ

私は：
自慰は毎日しているが
器具は使わない！
まあ指程度は入れたが
真正正銘
バージンの局部だ

はっ！
恥ずかしいよ鐘ちゃん！

そしてこれが
まだ何も入った事がない
由紀香の局部だ！

自慰は陰核中心の
所謂皮オナニーらしい

そっそんな事言わなくても！

氷室と三枝の：局部！

衛宮のアホー！

くうっ！
驚きと興奮で！

あっ！
熱いのがドクドクって
注ぎ込まれてる！

他の人のアソコ見て
いくんじやないよ
節操無し！

すまん！

パカ！
たっぷり
出しちゃって！

今度はその…
ちよっと
ラブラブっぽく
って言うか…

あ…ありがと…
やっぱ衛宮は
その…ちよっと優しい目だな

あはは…
サンキユ

ちよっとだけ
見直した
…かも

おれに乳首
可愛がつてやろう

やっぱ初体験な訳だし
ちよっとはロマンチックなのが
いいかなって思ったり…

了解…
だから自分のペースでいいから
無理しないように
ゆっくりしような

あん…ちよっと待って
その前に衛宮のおちんちん
入れちやうから…

詩寺の
小振りの胸も
可愛いな

ん…こんな感じがな

さつき中に出した
精液のせいとか
初めての時より
スムーズみたい…

やんっ♡

んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡

この体勢いいかも…
ギョツて抱き付きながら
好きなように動けるの…

そうだな…
時寺の身体が密着して
ドキドキする…

へへ…
ほんとコレ
何だかいいな

それに
クリトリスが
衛宮の身体に
擦れるのが
すごい気持ちいい…

どうしよう…
あたしこれ
好きになっちやう…
セックス…
好きになっちやうよ…

いいよ時寺…
これから
一緒にしようか…

うん…
あつ…
衛宮…あたし

あたし…っ！

くっ…
時寺…
出るよ…

あ…ああ…
段々中の擦れる感覚が
気持ち良くな
ってきたかも…



昨日は汁に塗れながら
随分と楽しんだんだって？

まさか蒔寺さんと
竿姉妹になるとはねえ

さっ
竿姉妹って!?

な…何の事だか
サッパリ分からんぞ
いきなりおかしくなったか
遠坂

しどうやら
外国で変な病気で
拾って来たに違いない
きつとそうだ

…手首に拘束プレイの
縄の跡がしっかりと
残ってるわよ？

!!!

三人娘・マニアックス

後書き

読んでいただきましてありがとうございました。
今回は3人根本だった訳ですが。

いやもう、先ずはもう蒔寺がエッチくて。
「いじめたい！」と久々に嗜虐心がくすぐられました（笑
それに氷室も矢鱈とやらしそうだし。
由紀っちも秘めたるものがありそうだし……

という訳で、こんな本が出来上がりました。
いかがだったでしょうか。

でも正直、まだまだ描き足りないですね。
この話の中でも描き切れなかった事がいっぱいあるし。
本当は氷室ともする予定だったんですが…ページが。
蒔寺だってもつとねちっこく攻めたかったし。
由紀っちも全然描けてないー

「由紀香は週何回オナニーするんだい？」
「あ…週に2回…でももうちょっと多いかも」
「じゃあ2日に1回はやってるんだね」
「(真っ赤)」

みたいなのを入れたかった…

そして、更に衛宮邸に上がってその中での新たな展開とか。
とりあえず凜とは絡ませたいですね。
それはもう壮絶な絡みになるでしょう。

ではでは、続きでお会いできれば嬉しいです。

発行 恋愛漫画家

発行者 鳴瀬ひろふみ

発行日 2005 12 30

印刷所 Power Print

連絡先 hironasu@mudbiglobene.jp

HP <http://www.renaimanga.com/>